

震災による暫定基準運用と 東北地方の季節予報

平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震に伴う洪水警報等の発表基準の暫定的な運用

仙台管区气象台では、「平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震」等の被害状況から大雨や高潮等による災害に対する脆弱性が高まっていると考えられるため、洪水や土砂災害を対象とする大雨、高潮の警報・注意報の基準を引き下げて運用しています。

今般、排水施設等の復旧状況や震災後これまでに経験した降雨等と災害の状況、関係機関の意見をもとに暫定基準の見直しを行い、平成 26 年 5 月 27 日から次に示す暫定基準で運用しています。(＝は、平成 25 年 9 月 5 日付暫定基準からの見直し)

○洪水警報・注意報及び浸水害を対象とする大雨警報・注意報

対象とする二次細分区域 (市町村等)	対象とする 警報・注意報の種類	基準の要素	暫定基準 (通常基準に対する割合)
仙台市東部、名取市、 塩竈市* 、岩沼市、 多賀城市、気仙沼市、 石巻市、東松島市、 女川町* 、松島町、 利府町、南三陸町、 七ヶ浜町* 、 亘理町* 、 山元町	洪水警報・注意報	雨量	8割
		流域雨量指数	7割
	浸水害を対象とする 大雨警報・注意報	雨量	8割
登米市、大崎市東部、 涌谷町、美里町、大郷町	洪水警報・注意報	流域雨量指数	7割

*但し、塩竈市、女川町、七ヶ浜町、亘理町は流域雨量指数基準を設定していない。

○土砂災害を対象とする大雨警報・注意報

対象とする二次細分区域 (市町村等)	対象とする 警報・注意報の種類	基準の要素	暫定基準 (通常基準に対する割合)
石巻市	土砂災害を対象とする 大雨警報・注意報	土壌雨量指数	8割

○高潮警報・注意報

対象とする二次細分区域 (市町村等)	警報基準	注意報基準
仙台市東部	1.3	0.6
塩竈市	1.0	0.6
名取市	1.2	0.6
多賀城市	1.3	0.6
岩沼市	1.3	0.6
亘理町	1.2	0.6
山元町	1.1	0.6
松島町	1.0	0.6
七ヶ浜町	1.0	0.6
利府町	1.0	0.6
石巻市	0.9	0.6
東松島市	1.0	0.6
女川町	0.9	0.6
気仙沼市	0.9	0.6
南三陸町	0.9	0.6

高潮警報・注意報の基準の潮位は「標高」で表し、単位はメートル

東北地方 3か月予報 (7月から9月までの天候見通し)

平成26年6月25日 仙台管区气象台発表

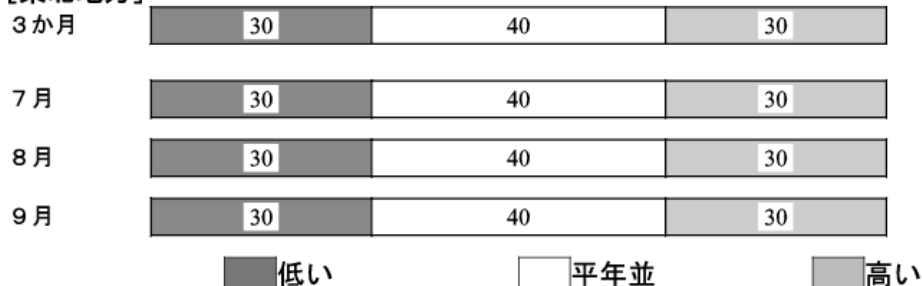
予報のポイント

- エルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高いでしょう。
- 太平洋高気圧の北への張り出しは平年程度で、向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込みです。
- 7月から8月にかけて前線や低気圧の活動が活発となる見込みで、向こう3か月の降水量は平年並か多い見込みです。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

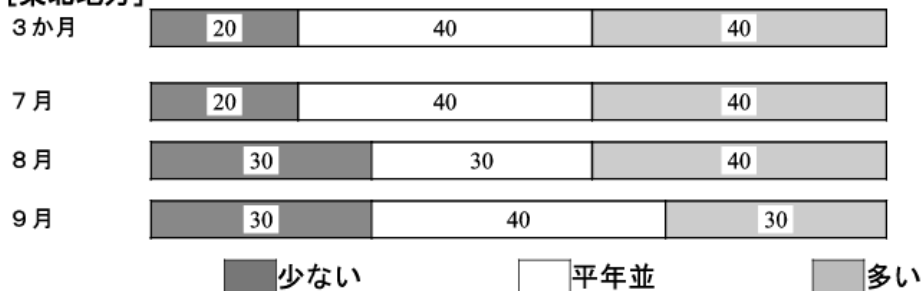
<<気温>>

[東北地方]



<<降水量>>

[東北地方]

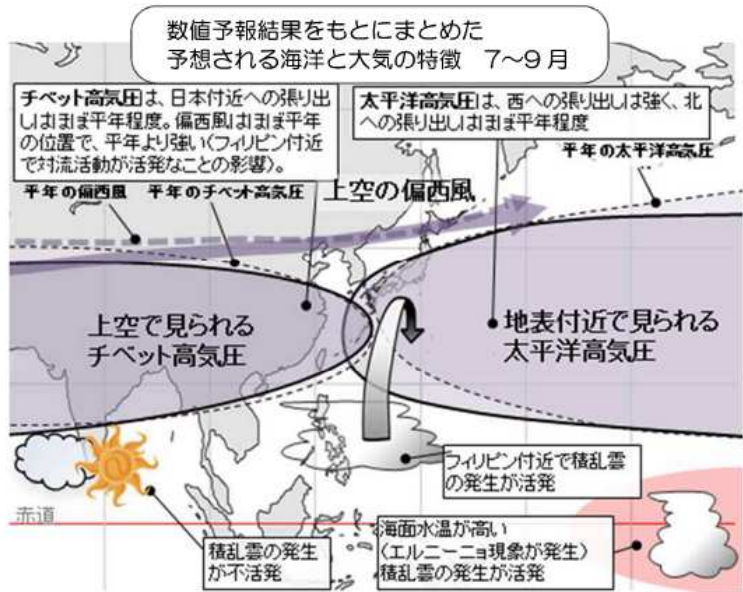


月別の天候

7月	8月	9月
前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。	高気圧に覆われますが、気圧の谷や低気圧の影響を受ける時期があるでしょう。東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多く、東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わる見込みです。	東北日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。

予想される海洋と大気の特徴

- 夏には、エルニーニョ現象が発生する可能性が高く、インド洋西部やインドネシア付近で熱帯の対流活動（積乱雲の発生）が不活発となる見込みです。
- 一方、フィリピン付近では、対流活動が活発となる見込みです。
- チベット高気圧の日本付近への張り出しはほぼ平年程度の見込みです。
- 太平洋高気圧は、北への張り出しはほぼ平年程度で、日本の南海上で勢力が強いでしょう。
- 上記の結果、偏西風はほぼ平年の位置で、平年より強く、前線や低気圧の活動が活発となる見込みです。
- 9月はフィリピン付近の対流活動は弱まり、偏西風は平年より南寄りを流れる見込みです。
- オホーツク海高気圧の影響は、平年程度の見込みです。



参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 7月	平均気温 8月	平均気温 9月
東北地方	平年差：-0.4～+0.3℃	平年差：-0.1～+0.9℃	平年差：-0.6～+0.7℃	平年差：-0.5～+0.3℃
東北日本海側	平年差：-0.4～+0.3℃	平年差：-0.3～+0.9℃	平年差：-0.7～+0.7℃	平年差：-0.4～+0.4℃
東北太平洋側	平年差：-0.3～+0.4℃	平年差：-0.4～+0.8℃	平年差：-0.6～+0.8℃	平年差：-0.5～+0.3℃
秋田	22.3～23.0℃	22.4～23.7℃	24.3～25.3℃	19.9～20.7℃
仙台	21.9～22.6℃	21.6～23.1℃	23.4～24.7℃	20.2～21.0℃

	降水量 3か月	降水量 7月	降水量 8月	降水量 9月
東北地方	平年比：95～108%	平年比：87～114%	平年比：78～113%	平年比：89～110%
東北日本海側	平年比：91～108%	平年比：84～110%	平年比：74～98%	平年比：83～111%
東北太平洋側	平年比：94～106%	平年比：87～118%	平年比：79～112%	平年比：84～117%
秋田	456.3～548.5mm	131.8～219.0mm	117.6～176.0mm	127.6～182.5mm
仙台	416.8～615.7mm	119.1～237.5mm	92.8～194.0mm	130.1～224.2mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981～2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11～20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	7月		8月		9月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
秋田	12.0日	11.8日	17.5日	10.0日	15.4日	12.3日
仙台	9.7日	13.5日	13.2日	10.6日	12.4日	11.2日

「晴れ日数」は「日照率40%以上」の日数であり、「降水日数」は「降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 東北地方の平年の梅雨入り、梅雨明けの時期

地域名	梅雨入り		梅雨明け	
	平年値	平年並の範囲	平年値	平年並の範囲
東北南部	6月12日頃	6月9日頃から6月14日頃	7月25日頃	7月22日頃から7月27日頃
東北北部	6月14日頃	6月11日頃から6月16日頃	7月28日頃	7月23日頃から7月31日頃

梅雨は季節現象であり、梅雨入り、梅雨明けには一般に数日程度の移り変わりの期間があります。梅雨入り、梅雨明けの日付は移り変わりの期間のおおむね中日用いて、○日頃と表記しています。

● 台風発生数、上陸数、本土接近数の平年値

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年間
発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
上陸数					0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0		2.7
本土接近数				0.0	0.1	0.4	1.0	1.7	1.7	0.7	0.0		5.5

台風の本心が本州、北海道、九州、四国のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を「本土に接近した台風」としています。